
神様勧誘

昼乃春空

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

神様勧誘

【Nコード】

N5486R

【作者名】

昼乃春空

【あらすじ】

普通の学生『雲海望』は突然であった全身フリルまみれの自称女神少女により平凡な人生からぬけだすことになったのだ。

（前書き）

初投稿なのでド素人のは見たくない！！というかたはみないほうが
よろしいと思います。

「実は私、神様勧誘をしているのですッ!!」
ある寒い日の夕方、とつぜん僕の目の前に現れた少女が言ったこの一言から僕の『ストーリー』が始まった。

とある国のある地域のある学校で何の変哲もない普通の学生の僕、『雲海望』くもつみのぞむはある寒い日の夕方さつさと家に帰るため塾からの帰り道を少し早足で進んでいた。

「あゝ、なんでこんな時期に雪なんてふるのかね」

そんな独り言をいいつつさらに足を速めていた。そんなとき突然僕の10m先ぐらいから全身フリルだらけの服を着た金髪少女が歩いているのに気がついた。

そしてその少女はおもむろに僕の方に目を向けてきた。

（やべ、独り言きかれたか!？）

などと心の中で思いながら目を背けて早足で通り過ぎようと思ったそのとき、

「あ、あの・・・」

全身フリルだらけの金髪少女に声をかけられた。そしてその少女は突然大きな声で、

「実は私、神様勧誘をしているのですッ!!」
・・・は?

いきなり思いがけ無い言葉を言われついポカーンとしてしまった僕に少女は、なぜ神様勧誘をしているのかをこと細かく説明しはじめた、その説明はいまこの世には神が足りないとか新しい神を作らなければならぬなど、どれも突拍子がなく胡散臭いことばかりだった。

そして僕はこの説明を半分程度きいたところで、

「ちょ、ちよつとまってくれ！すまないが君の言ってることをまったく理解できないのだが・・・それに君はいつたい何者なんだ？」くるしまぎれに僕がいうとその少女はそれが当たり前だというような顔で、

「女神ですけど・・・」

と言ってきた。その瞬間、僕は（ああ、この子は痛い子なんだな・・・）と結論付けた。そして自称女神の少女はなにもなかったかのように神様勧誘の説明の続きを始めた。その説明を5分程度ききうに聞いてこの状況をどうしようと、考えている僕に少女は、

「とにかく、今の説明通り神様が足りなくて困っているというのは、わかっていただけたでしょうか？」

「まあ・・・だいたいは・・・」

今はとりあず話をあわせておこうと思いつくにかく適当に返事をしてみた。

すると少女はいきおいよく、

「それでは神様になってくれますか!!」

と、言ってきたのでとりあえず話をあわそうと思っていた僕はそのとき、つい簡単に、

「ああ、僕でいいのならなるよ。神様に」

そしてその瞬間目の前が真っ白になり、僕は・・・神様になっていた。

（後書き）

初投稿なのでまだまだなところがいっぱいあると思いますので、どうかアドバイスをよろしくおねがいします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5486r/>

神様勧誘

2011年10月8日20時50分発行